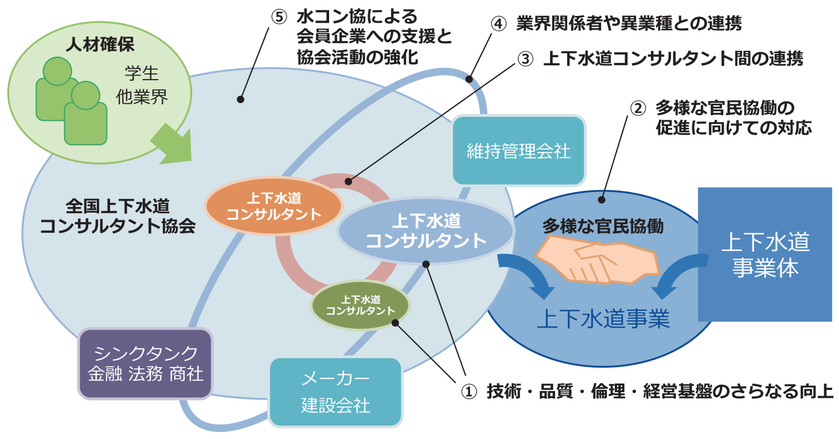
AWSCJ Vision 2015-2025

これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦

水コン協では、今年30周年を迎え、上下水道コンサルタントの新ビジョンとして、『AWSCJ Vision 2015-2025 –これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦-』を公表いたしました。このビジョンでは、従来の技術サービス（調査、計画、設計業務）の領域を超えて事業支援サービスを提供し、官と協働して上下水道サービスの担い手となっていくことが我々の新たな役割であると考えます。
右図はこのビジョンのコンセプトイメージを図化したものです。

これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦



図中の上下水道コンサルタントの色や大きさの違いは、規模や営業品目など各社各様に特徴が異なることを表現しています。

1. 上下水道コンサルタント　これまでとこれから

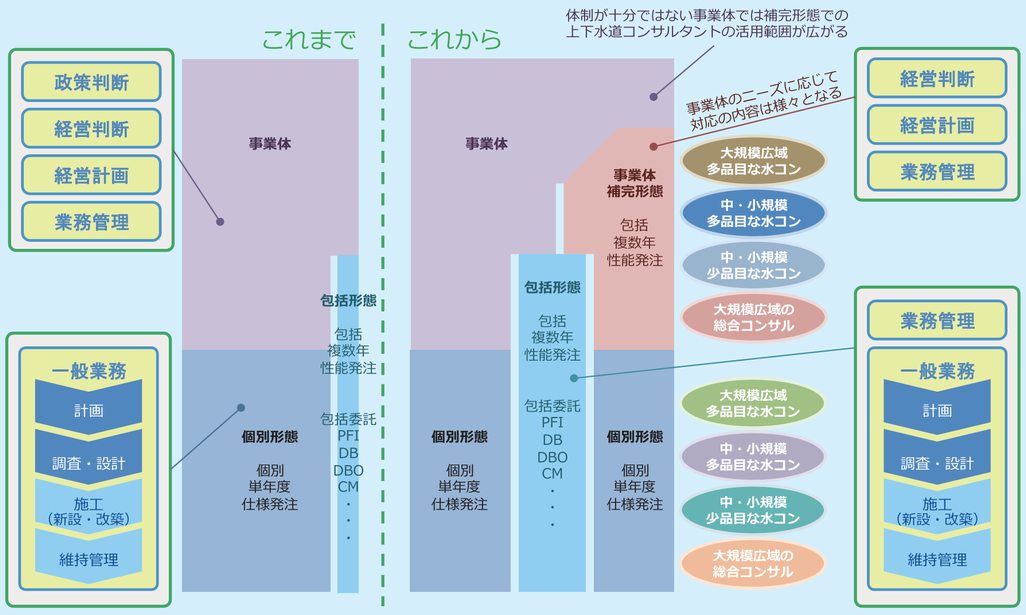
上下水道コンサルタントは、上下水道事業のあらゆる場面での技術的相談に対応してきたこれまでの実績を活かし、この先求められる多様な官民協働において、官と民の両方の視点を持った中心的な役割を担うことができると考えます。
水コン協会員企業は、時代に即した認識のもと、自らの立ち位置を考え、「官からの期待」にこたえていくことが求められます。

これからの上下水道コンサルタント

2. 多様な官民協働の推進に向けて

水コン協が考える「多様な官民協働」とは協会会員各社が、保有する技術や人材、立地条件等の特徴を最大限に発現できる得意分野において、適切な役割分担と連携の下、事業体のニーズに合わせた「官民協働形態」により、上下水道事業の業務や運営管理に参画し、「官」と共に市民へ最適なサービスを提供していくしくみです。
現在は、「包括形態」が顕在化してきた状況であり、今後3つの形態の適切な分担のもと、市民への最適なサービスが提供されるものと考えています。

官と民の関わりは多様な官民協働へ



3.これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦

「多様な官民協働」において活躍する姿と現状とのギャップを解消するための取り組みとして、コンセプトイメージ図中にも記載した次の5つの重点テーマを設定しました。
❶～❹は会員企業各社と水コン協が取り組むテーマであり、❺はその取り組みを水コン協が支援していくテーマです。

❶技術・品質・倫理・経営基盤のさらなる向上
❷多様な官民協働の促進に向けての対応
❸上下水道コンサルタント間の連携
❹業界関係者や異業種との連携
❺水コン協による会員企業への支援と協会活動の強化

『ビジョン2015-2025』では、上下水道事業に関わる様々なプレーヤー（業界関係者）が今以上に連携し、総合力を発揮して、上下水道事業の担い手になろうとすることを示しています。これは「多様な官民協働」において、我々上下水道コンサルタントがその確固たる存在基盤を作り上げることへ挑戦することの決意を示すものでもあります。詳しくは全国上下水道コンサルタント協会のHPに掲載された『ビジョン2015-2025』をご参照ください。

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会